

民報論壇

海運保安廳出張所開設

突如度に

躍進小名浜にまたも朗報飛込む

全町挙げて促進の猛運動展開へ

東北の一大港として海運局、港務所が設置される。單なる漁港たるのみか、商港として改修が進められる。荷役設備の充実が計画され等々終戦急激にクロースアップされて来た。「みなとひとき」に今度は海運保安廳出張所が開設されることに決定した。全田張所は主として海上警備の任にあるので開設のあかつきは「百十級の要備船」を常備され、港外へわざつて港湾を處理、危険防止等に當る事である。差當りは一先づ海運局支内に同居するものになる模様であるが取扱いは一日一年く實現をみるようこの突如の内報などが予定された、なお近くには赤城と本郷の船組係の石油補給室で運動を開始することに決定した。地元は「お近くには赤城と本郷の船組係の石油補給室で運動を開始するので、こゝ小名浜の發展は平市を後退させ大都市としての躍進を早く期待されるに至つた」といはれている。

公民館圖書部店開き

いよいよ盆明の二十三日から

市役所 潛特別室に店舗を準

備中つた公民館圖書部は一

位の圖書委員會を開き、低品

位の圖書委員會を作成その他に

新賃金要求對策協議
炭勞東部對策
低品位労東部對策

九月一杯で期限の切れる現實

計する

東西對抗庭球

選手権大会へ

市内マルトモ酒店(栗田源)

二氏より賃金一百円の寄

贈金があつた

正職員はどんと

これから派生し、相

馬鹿の今野検

事務官は平塚市長、相

正が騒動へ興味するとい

騒動書を發表せねばなら

ありとせばこれを糾訴する

陰謀政治を

排撃す

丸公魚市場の不

正職員はどんと

正職員はどんと

お盆日(八月十六日夜十時)十の兩旦平高さ行う
赤井村後口長谷川興行部長
河内町佐久間(四〇)佐久間
電三八千人入場料一千五百圓
四行印四月一日定期
編集人印一月一日定期
行民報社

卷一
赤井克巳
石の花と
路傍の石
教育協会

千葉、大門組委員會、市原組
の組が顕代表として参加
賓會を開くこと、二十二四
日から一週間「路傍の石」
石の花を上映の計画

赤井で興行師殺さる
原因は繩張り争いの亂闘か

お盆日(八月十六日夜十時)十の兩旦平高さ行う
赤井村後口長谷川興行部長
河内町佐久間(四〇)佐久間
電三八千人入場料一千五百圓
四行印四月一日定期
編集人印一月一日定期
行民報社

卷一
赤井克巳
石の花と
路傍の石
教育協会

千葉、大門組委員會、市原組
の組が顕代表として参加
賓會を開くこと、二十二四
日から一週間「路傍の石」
石の花を上映の計画

赤井で興行師殺さる
原因は繩張り争いの乱闘か

お盆日(八月十六日夜十時)十の兩旦平高さ行う
赤井村後口長谷川興行部長
河内町佐久間(四〇)佐久間
電三八千人入場料一千五百圓
四行印四月一日定期
編集人印一月一日定期
行民報社

卷一
赤井克巳
石の花と
路傍の石
教育協会

千葉、大門組委員會、市原組
の組が顕代表として参加
賓會を開くこと、二十二四
日から一週間「路傍の石」
石の花を上映の計画

赤井で興行師殺さる
原因は繩張り争いの乱闘か

お盆日(八月十六日夜十時)十の兩旦平高さ行う
赤井村後口長谷川興行部長
河内町佐久間(四〇)佐久間
電三八千人入場料一千五百圓
四行印四月一日定期
編集人印一月一日定期
行民報社

卷一
赤井克巳
石の花と
路傍の石
教育協会

千葉、大門組委員會、市原組
の組が顕代表として参加
賓會を開くこと、二十二四
日から一週間「路傍の石」
石の花を上映の計画

赤井で興行師殺さる
原因は繩張り争いの乱闘か

お盆日(八月十六日夜十時)十の兩旦平高さ行う
赤井村後口長谷川興行部長
河内町佐久間(四〇)佐久間
電三八千人入場料一千五百圓
四行印四月一日定期
編集人印一月一日定期
行民報社

卷一
赤井克巳
石の花と
路傍の石
教育協会

千葉、大門組委員會、市原組
の組が顕代表として参加
賓會を開くこと、二十二四
日から一週間「路傍の石」
石の花を上映の計画

赤井で興行師殺さる
原因は繩張り争いの乱闘か

お盆日(八月十六日夜十時)十の兩旦平高さ行う
赤井村後口長谷川興行部長
河内町佐久間(四〇)佐久間
電三八千人入場料一千五百圓
四行印四月一日定期
編集人印一月一日定期
行民報社

卷一
赤井克巳
石の花と
路傍の石
教育協会

千葉、大門組委員會、市原組
の組が顕代表として参加
賓會を開くこと、二十二四
日から一週間「路傍の石」
石の花を上映の計画

赤井で興行師殺さる
原因は繩張り争いの乱闘か

